

令和5年度 高大連携授業（前期）授業要目＜科目概要＞
シラバス

■従来型授業

□単位取得予約型授業

実施形態	対面授業	大学等名	秋田大学
科目名 (サブタイトル)	[4] 中世のイギリスとフランス (－世界史再読－)	科目担当者 (学部・学科・職・氏名)	教育文化学部 地域文化学科 准教授 佐藤 猛 (計1名)
授業概要	高校世界史の学習の中で、「中世ヨーロッパ」はイスラームの発展・拡大と中国の宋・元時代に挟まれるとともに、様々な民族や国が登場することで、難解な単元の一つです。その中のイギリスとフランスの形成を扱います。		
授業方針	教科書の記述をより深く学ぶことを目指します。そのために、中世の時代に書かれ、残された史料の記述を皆さんと一緒に読みながら進めます。		
会場・教室	カレッジプラザ 小講義室1		
会場住所	秋田市中通2丁目1-51 明德館ビル2階		
欠席連絡先	大学コンソーシアムあきた事務局（秋田大学 総合学務課内）（平日9：00～17：00） 電話：018-889-2843 E-mail: conso@jim-u.akita-u.ac.jp		
授 業 計 画			
【募集定員人数：30名】先着順で募集を締め切ります			
第1講：「ガリアとブリタニアへの民族移動」			
＜6月22日（木）17:30～19:00＞ 古代ローマの時代、現在のフランスは「ガリア」、イギリスは「ブリタニア」と呼ばれました。ローマ帝国の末期、それらにどのような人々が移住し、キリスト教を受け入れ、中世ヨーロッパ世界が成立したかを考えます。			
第2講：「北フランス出身のイングランド王家」			
＜6月29日（木）17:30～19:00＞ 現在、私たちが知っているイギリス国王の祖先をたどると、実は北フランスの貴族家門にたどりつきます。彼らがどのようにイングランド王位を継承し、そのことはフランスの王や王国にどのような影響を与えたかを考えます。			
第3講：「英仏海峡をまたぐ大領土」			
＜7月6日（木）17:30～19:00＞ 1154年にイングランド王位を継承したのは、北西フランスに拠点をおくアンジュー家であり、その領土はグレートブリテン島からピレネー山脈に至りました。その領土の集積と崩壊の過程を丁寧に追って、その意義を考えます。			
第4講：「百年戦争の起源」			
＜7月20日（木）17:30～19:00＞ フランスの南西部に位置するボルドー周辺は、中世の後半以降、イングランド王家の領地でした。そのことが、1337年に「百年戦争」が始まる遠因となります。戦争勃発までに英仏間で何が起きたのかを考えましょう。			
その他			
テキスト			
参考文献	佐藤猛『百年戦争－中世ヨーロッパ最後の戦い－』中央公論新社（2020年3月、ISBN：9784121025821）		
関連科目			